

感染症発生動向調査／多摩立川感染症週報

2026年 第30週 (2026年7月20日～7月26日)

東京都多摩立川保健所 保健対策課 電話042-524-5171(代表)

* 管内(立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)の今週の感染症発生動向

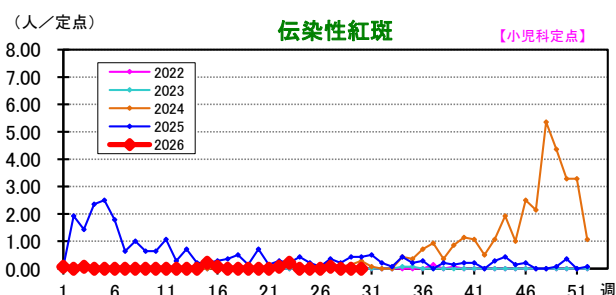
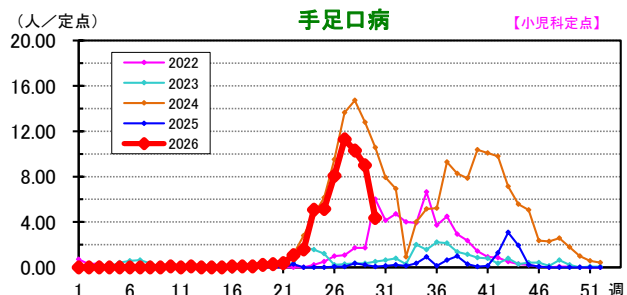
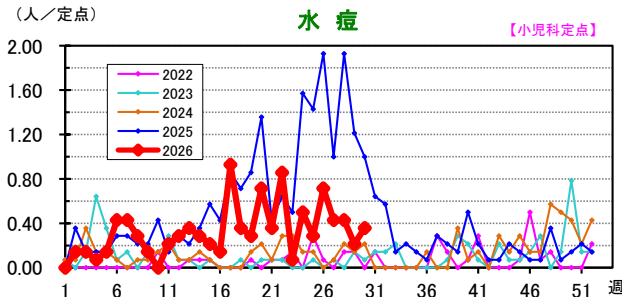
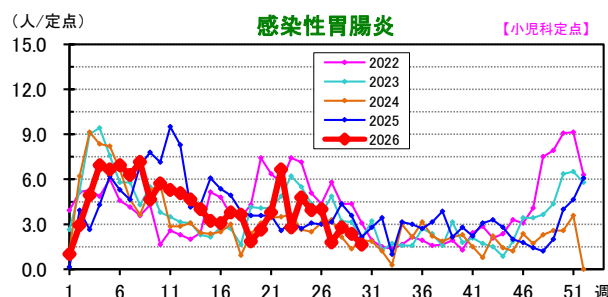
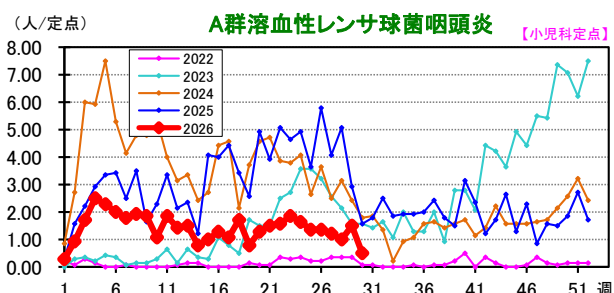
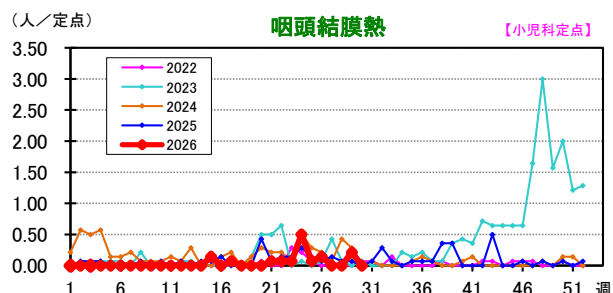
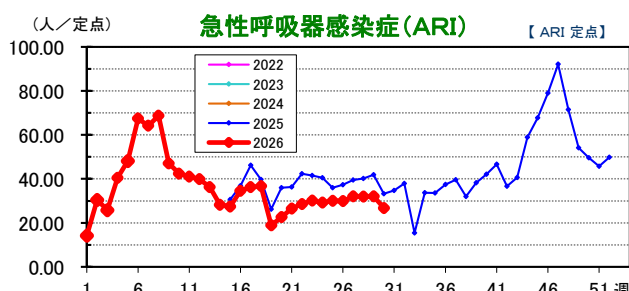
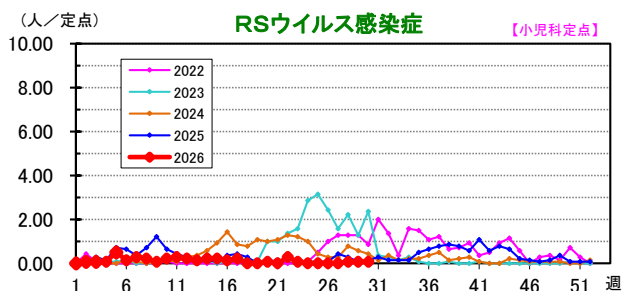
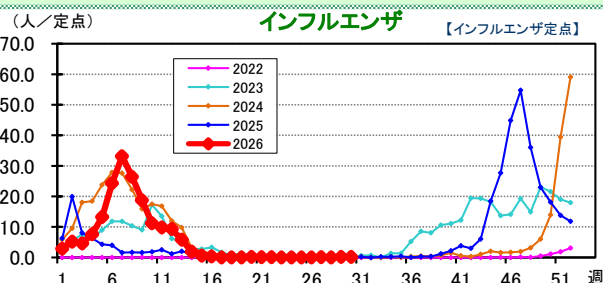
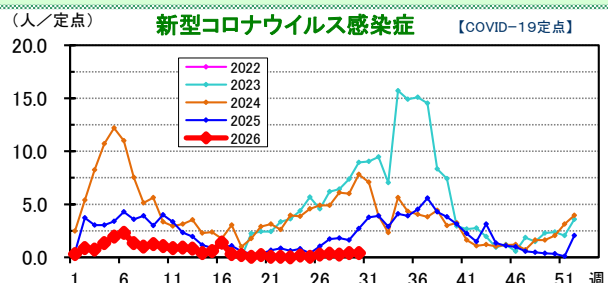
【定点把握対象疾患】* 定点医療機関: COVID-19定点21医療機関・インフルエンザ定点21医療機関・ARI定点21医療機関・小児科定点14医療機関・眼科定点2医療機関

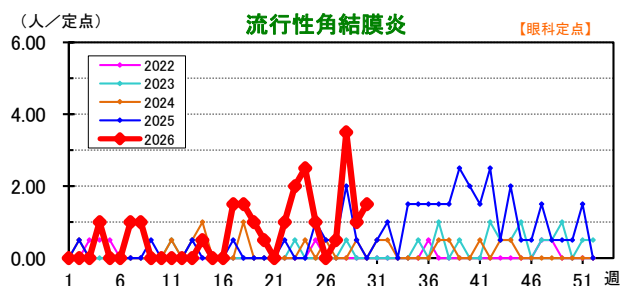
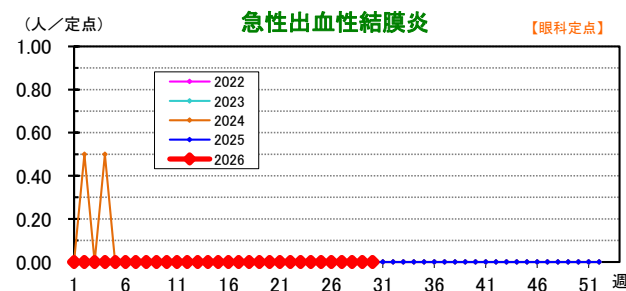
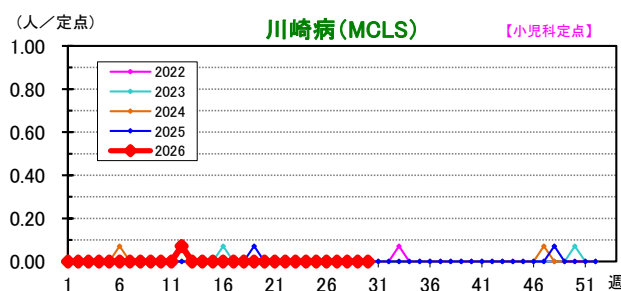
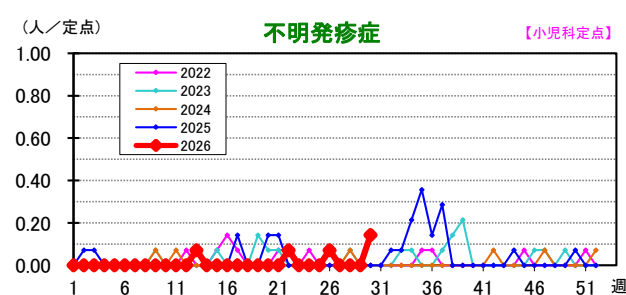
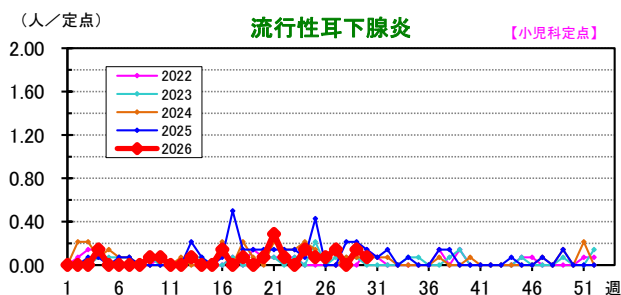
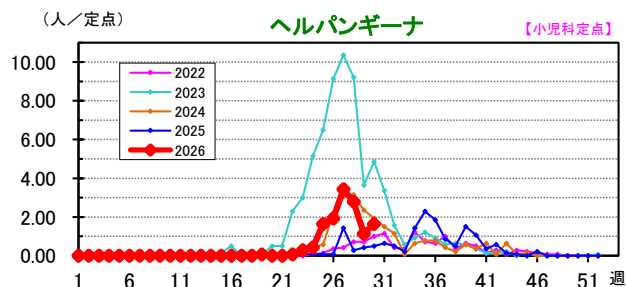
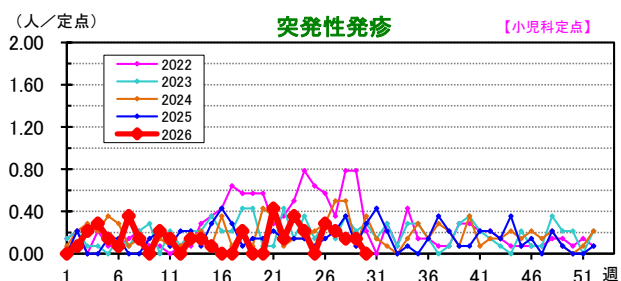
・手足口病は定点当たり4.36と前週から減少したものの、依然として警報レベルで推移しています。急性呼吸器感染症も定点当たり26.71と前週より減少しているものの、引き続き発生がみられるため、手洗いやうがいなどの基本的な感染予防対策の徹底をお願いします。

【感染症集団発生状況(新規)】

・保育所において、手足口病5件の報告がありました。

・医療機関において、混合感染(COVID-19、ヒトメタニューモウイルス感染症、ライノ/エンテロウイルス陽性)1件の報告がありました。





【都内の感染症発生動向について】
東京都感染症情報センター
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

【国内の感染症発生動向について】
国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

* 管内定点医療機関あたり報告数(直近4週間)

疾病	2026								1週からの 報告累計数
	27週		28週		29週		30週		
	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	
新型コロナウイルス	7	0.33	5	0.24	8	0.38	8	0.38	406
インフルエンザ	2	0.10	1	0.05	3	0.14	3	0.14	3707
RSウイルス感染症	0	0.00	1	0.07	1	0.07	1	0.07	51
急性呼吸器感染症(ARI)	673	32.05	670	31.90	673	32.05	561	26.71	21899
咽頭結膜熱	0	0.00	0	0.00	3	0.21	0	0.00	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	1.21	14	1.00	21	1.50	7	0.50	589
感染性胃腸炎	25	1.79	39	2.79	33	2.36	23	1.64	1725
水痘	6	0.43	6	0.43	3	0.21	5	0.36	132
手足口病	158	11.29	144	10.29	126	9.00	61	4.36	738
伝染性紅斑	1	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	11
突発性発疹	3	0.21	2	0.14	2	0.14	0	0.00	58
ヘルパンギーナ	48	3.43	39	2.79	16	1.14	23	1.64	165
流行性耳下腺炎	2	0.14	0	0.00	2	0.14	1	0.07	22
不明発疹症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.14	3
川崎病(MCLS)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1
急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
流行性角結膜炎	1	0.50	7	3.50	2	1.00	3	1.50	39

腸管出血性大腸菌感染症は夏季に多く発生する感染症です。焼肉やバーベキューなどで加熱不十分な肉を食べることにより感染するほか、患者の便により汚染された手指を介して人から人へ感染することもあります。腹痛や下痢、血便などを引き起こし、特に子どもや高齢者では重症化することがあるため注意が必要です。夏休み期間中は屋外での飲食機会も増えることから、肉類は十分に加熱し、調理器具の使い分けや手洗いを徹底するなど、食中毒及び感染症予防を心がけましょう。

腸管出血性大腸菌感染症Q&A(厚生労働省) 🔍